



さ り ゆ
salut
VOL.57

ちがいを 見るのは、
人びとの 偏見である。
(「仏教聖典」より)



○應典院寺町倶楽部主催事業○

アサヒ・アート・フェスティバル 2008参加事業 「The アートフォークロアリズム in 上町台地」

この夏、上町台地にて、生活の中や、まちの中からアートを再発見するプロジェクト「The アートフォークロアリズム in 上町台地」を行います。アートが紡ぐまちの記憶と人々のいとなみを、写真展から音楽ライブ、まち歩きから落語まで、多様な表現で立ち上げらせてゆきます。
会期：2008年8月24日(日)～9月7日(日) 協力：上町台地からまちを考える会、谷町空庭

<p>NOET 写真展「丘」</p>  <p>NOET(写真家)が撮影した歴史の丘、上町台地の写真展です。 📅 8月24日(日)～9月7日(日) 12:00～19:00 入場無料</p>	<p>[]=_(ウチミ・チソト)</p> <p>上町台地に位置する、屋内空間「谷町空庭」と屋外空間「難波宮跡地」での眼と自作音具によるサウンドパフォーマンス。それら二空間の移動プロセスも含めて、日常の中に溶け込む風景や音に対する感覚を研ぎすます、きっかけ作りを行います。</p> <p>1部：谷町空庭 (大阪市中央区常盤町1-1-8-6F) 2部：難波宮跡地 (大阪市中央区法門坂1) 参加アーティスト:mamoru(サウンドアーティスト)/大和川レコード(日常編集家/アーティスト)</p> <p>📅 8月30日(土) 17:00～19:45 1部 谷町空庭屋内ライブ 17:00～18:30(※完全予約制、定員25名) 移動 18:40～19:00 2部 難波宮跡地屋外ライブ 19:00～19:45(※雨天決行。要雨具。) ¥2000(1ドリンク、つまみ付き)※難波宮ライブのみ参加カンパ制。</p> <p>※このプログラムは大阪市の現代芸術創造事業の一環で企画されており。主催：大阪市 企画運営：財団法人大阪城ホール、應典院寺町倶楽部</p>	<p>落語で伝承！上町台地アートツーリズム【寺町編】</p> <p>上方落語の代表作「天王寺参り」をテーマに、上町台地の魅力的なスポット、四天王寺界隈を巡るまち歩きツアーを開催します。まち歩き終了後には、噺家 桂都んぼさんによる実演をじっくり堪能できます。</p> <p>1部 四天王寺界隈まち歩き 10:00～11:30 まち歩き案内人：オダギリサトシ ※完全予約制(定員20名)です。 ※雨天決行いたします。雨具をご用意ください。 2部 落語「天王寺参り」 13:30～14:15 落語家：桂都んぼ</p> <p>📅 9月7日(日) 10:00～14:15 1部集合場所：JR天王寺駅中央改札前 2部：應典院</p> <p>1部2部 両参加/¥1500 1部 or 2部 のみ参加/¥1000 終了後、全参加アーティストによるトークサロンを開催。</p>
---	---	--

○應典院寺町倶楽部主催事業○

<p>第80回いのちと出会う会「天から授かったダウン症の遥香」</p> <p>長女として授かった遥香ちゃんがダウン症だとわかった時には悲しみに涙が止まらなかった。遥香ちゃんはそののち元気でたくましく育ち、今はすばらしい子どもを授かったと感謝されています。また中村さんと本人は5年前に舌癌を告知され手術を受けられました。</p> <p>話題提供者：中村信彦さん(茨木市議会議員 社会福祉法人とよかわ福祉会 専務理事) 📅 9月18日(木) 18:30～20:30 一般¥1,000 寺町倶楽部会員・学生¥700(お茶菓子付き)</p>	<p>第81回いのちと出会う会「『笑み道』輝いて生きるには！」</p> <p>脳出血で生死をさまよう体験から奇跡的に回復し、そののち体験したパニック症にも命がけで自己改革していく中、原因はすべて自分の中にある事に気づき、全身で体感するプログラムを開発。「笑み道」で心も身体もきれいになって輝いて生かされるお手伝いをされています。</p> <p>話題提供者：康 有羅さん(日本表現協会代表) 📅 10月16日(木) 18:30～20:30 一般¥1,000 寺町倶楽部会員・学生¥700(お茶菓子付き)</p>
---	---

○應典院演劇情報○

<p>space+drama2008参加公演</p> <p>ミジンコターボ 「スーパーソニックジェットガール」</p>  <p>セミはね、そんなに長くは飛べないんだって。だから木からすぐ隣の木に飛び移ったりして鳴いているの。木の少ない都会のセミはどうしてるんだらうと思って地面を見たら、アスファルトで干からびてた。</p> <p>でね、結局なにが言いたいのかって言うと、愛だの夢だのっていう類は、全部まとめてファックだって事。</p> <p>📅 9月 9日(火) 19:30 9月10日(水) 19:30 9月11日(木) 17:30☆ミニライブあり 前売り・当日共/¥2,300</p>	<p>オリゴ党 「カーゴ・カルト」</p>  <p>📅 9月13日(土) 15:30/19:30 9月14日(日) 13:00/17:00 前売り/¥2,300 当日/¥2,500 学生/¥1,500(当日のみ、要学生証) 問い合わせ/☎06-6320-1442(劇団)</p>	<p>TEAM晩年の少年 「gold/bug！」</p>  <p>📅 10月25日(土) 19:00 10月26日(日) 12:00/17:00 前売り/¥1,800 当日/¥2,000 問い合わせ/☎ 090-9161-0854(田和)</p>
---	---	---

○大阪市現代芸術創造事業○

<p>ARCトークコンピレーション#018 「京都発！市民メディアと持続可能な地域デザイン」</p> <p>京都拠点に、市民が情報を発信するラジオカフェの運営から、イベントで利用するリユース食器、フェアトレード、イベントサポートまで幅広く活動する太田航平さん。市民が作り出す持続可能な地域づくりについて、様々な方面から考えていきます。</p> <p>ゲスト：太田航平 (市民メディア全国交流集会'08京都実行委員会事務局長/京都ラジオカフェ株式会社専務取締役/ NPO地域環境デザイン研究所ecotone代表理事)</p> <p>📅 9月27日(土) 18:00～20:00 ¥1,000(お茶、資料代) 会場/築港ARC</p>	<p>大阪のアートを知り尽くすの会 vol.6 散策ガイドマップ「ミニシアター」編</p> <p>かつて、文化の中心だったまちと表現される大阪。とはいえ今でも文楽や近代建築などの伝統文化が盛んで、じっくりとものづくりができるまちであり、また同時に前衛的なアートシーンや小演劇界でのその存在感もやはり濃厚ではないでしょうか。この会では参加者皆で、築港ARCのライブラリー資料や雑誌「大阪人」を活用して、大阪の小劇場マップ、大大阪モダンイズム建築マップ、音楽口クシーンマップなどなど、様々なテーマで作り上げ、文化芸術のまちとして、大阪には何が、何があったのか、今一度見つめなおしてみます。</p> <p>📅 9月6日(土) 18:00～20:00 ¥500(お茶、資料代) 会場/築港ARC</p>
--	--

應典院寺町倶楽部 TEL:06-6771-7641 FAX:06-6770-3147 info@outenin.com http://www.outenin.com
築港ARC(ちっこうアーク) TEL&FAX:06-4308-5517 arc@outenin.com http://www.webarc.jp

〈アトセツ〉

夏の應典院は演劇一色になる。まずは恒例の舞台芸術祭「space×tama」だ。その後、梅雨のなか「大阪高校演劇祭 Highschool Play Festival(HaFu)」や「高校生たちの声響き渡る。ゆえに、この時期の應典院を演劇の甲子園と呼ぶ人がいる。

そんな夏、先般、寺子屋にてお招きした加藤種身さんの還暦の祝宴にお誘いを受けた。お盆前の東京とお盆明けの大阪のうち、大阪のみ参加させていただいた。ビール瓶を手にした乾杯の踊り、金粉ダンサーの祝いの踊り、全員での替え歌の合唱などの演出に、ご本人も「関西らしい」と笑みをこぼされていた。

会の終わりの加藤さんによるお礼のことはが印象的だった。播磨のご出身ゆえに、関西は故郷だと切り出し、東京での大学生活、町工場での仕事をを経て、40歳を過ぎてからアサヒビールに入社したこと、など。そして、節目節目を通じて、多様な仕事を「つくり、ネットワークが広がった」と。

人生が語られたことをライフ・ヒストリーという。以前、ヒストリーという英単語は、(his+story)に分解できるから、歴史とは彼の(HIS)物語(story)として第三者に語られてこそ成立する、という話を聞いた。例えば、このヘアト・セツも含めて、加藤さんが人生を語った場に居た私は、今後、その内容を他者に伝えていくことになる。そうして、加藤さんが先達としてアトとNPOの関わり方を開拓してきた意味が見出され、歴史が刻まれていくのだろう。

(編)

